

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年12月10日

【四半期会計期間】 第56期第3四半期(自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)

【会社名】 株式会社ミサワ

【英訳名】 Misawa & Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三澤 太

【本店の所在の場所】 東京都目黒区目黒一丁目4番16号
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の「最寄りの連絡場所」で行っております。)

【電話番号】 (03)5793 - 5500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 鈴木 裕之

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
(平成26年12月1日から最寄りの連絡場所は、東京都目黒区青葉台一丁目23番4号から上記に移転しております。)

【電話番号】 (03)5793 - 5500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 鈴木 裕之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第55期	第56期	第55期
		第3四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第55期
		自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日	自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日	自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日
売上高	(千円)	4,543,104	5,731,998	6,320,092
経常利益	(千円)	352,246	565,437	486,095
四半期(当期)純利益	(千円)	177,727	296,200	234,905
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	163,574	300,639	225,278
純資産額	(千円)	1,074,759	1,437,112	1,136,490
総資産額	(千円)	2,846,098	3,449,338	3,172,374
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	85.30	142.04	112.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	80.26	133.69	106.07
自己資本比率	(%)	37.8	41.7	35.8

回次	会計期間	第55期	第56期
		第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間
		自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日	自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	30.17	33.23

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策および日銀の金融政策を背景に、企業の設備投資の増加や雇用情勢の改善など緩やかな回復が見られました。海外におきましては、米国経済の企業収益の改善や個人消費の堅調な推移や欧州経済が緩やかな回復基調で推移するものの、中国の成長鈍化等により依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、消費増税前の駆け込み需要の反動や急激な円安による輸入価格の高騰等により、依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた自分らしい暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業におきましては、当社Facebookページにおける一般ユーザー参加型の企画「お部屋グランプリ」の開催、家具に絵を描くよ展vol.3として人気アーティストとのコラボ企画「unico×Rob Kidney」の開催、秋の模様替えやおまとめ買い需要に応えた「ハウスカード10%ポイント還元キャンペーン」等を実施いたしました。また、food事業におきましては、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置付けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,731,998千円(前年同四半期比26.2%増)、営業利益563,842千円(同59.8%増)、経常利益565,437千円(同60.5%増)、四半期純利益296,200千円(同66.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

unico事業

unico事業における主たる売上である家具におきましては、以前からお客様よりご要望いただいております、WYTHEシリーズの機能やサイズが自由に選べる組み合わせで作るAVミドルボードを追加投入したことが、ご好評いただきました。

当社デザイナーによるオリジナル企画アイテムにおきましては、カーテンではドレープとレースを新たに15シリーズ、ラグマットでは新たに6シリーズ追加投入したことでご好評いただきました。

また、店舗状況におきましては、新規に2店舗(平成26年3月unico大宮、同年4月unico町田)の出店、1店舗の移転(平成26年2月unico名古屋)により、全国合計30店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,612,267千円(前年同四半期比26.3%増)、セグメント利益は561,405千円(同57.0%増)となりました。

food事業

BISTRO KHAMSAでは、季節に合わせたメニューの開発や店舗コンセプトに合わせたイベントの実施等により、新規顧客の獲得・リピーター顧客の増加に繋がりました。Le Bistroでは、口コミや店舗情報の積極的な発信により、新規顧客の獲得や引き続きリピーター顧客から高いご支持をいただきました。bistro oeuf oeufでは、高いクオリティを維持しながらコストコントロールを重視することで継続した利益の獲得に繋がりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は119,731千円（前年同四半期比20.7%増）、セグメント利益は2,437千円（前年同四半期は4,708千円の損失）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,400,000
計	6,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年12月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,085,600	2,085,600	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	2,085,600	2,085,600	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年8月1日～ 平成26年10月31日	-	2,085,600	-	206,283	-	186,283

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年7月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,085,000	20,850	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	2,085,600	-	-
総株主の議決権	-	20,850	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミサワ	東京都目黒区青葉台一丁目23番4号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(平成19年内閣府令第64号)」に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年8月1日から平成26年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年2月1日から平成26年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	500,856	652,804
売掛金	390,766	348,950
商品及び製品	984,818	994,978
仕掛品	13,530	15,804
原材料及び貯蔵品	70,055	100,201
繰延税金資産	30,376	30,376
その他	123,182	220,352
流動資産合計	2,113,585	2,363,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	420,520	436,586
その他（純額）	109,516	109,821
有形固定資産合計	530,037	546,408
無形固定資産		
無形固定資産	66,957	78,622
投資その他の資産		
繰延税金資産	82,404	82,404
敷金及び保証金	368,153	367,568
その他	11,236	10,866
投資その他の資産合計	461,794	460,839
固定資産合計	1,058,788	1,085,869
資産合計	3,172,374	3,449,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	247,908	239,365
短期借入金	236,392	-
1年内返済予定の長期借入金	299,870	349,708
未払法人税等	175,747	122,851
前受金	293,310	220,054
賞与引当金	37,107	119,279
その他	295,138	348,634
流動負債合計	1,585,475	1,399,893
固定負債		
長期借入金	404,961	570,892
退職給付引当金	8,055	8,815
資産除去債務	29,719	29,885
その他	7,671	2,739
固定負債合計	450,407	612,332
負債合計	2,035,883	2,012,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,274	206,283
資本剰余金	186,274	186,283
利益剰余金	748,489	1,044,690
自己株式	155	190
株主資本合計	1,140,882	1,437,066
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,391	46
その他の包括利益累計額合計	4,391	46
純資産合計	1,136,490	1,437,112
負債純資産合計	3,172,374	3,449,338

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	4,543,104	5,731,998
売上原価	1,851,812	2,355,939
売上総利益	2,691,292	3,376,059
販売費及び一般管理費	2,338,367	2,812,216
営業利益	352,924	563,842
営業外収益		
受取利息	121	117
為替差益	4,634	3,164
運送事故受取保険金	2,533	3,238
その他	1,339	1,695
営業外収益合計	8,628	8,216
営業外費用		
支払利息	7,223	5,450
その他	2,083	1,171
営業外費用合計	9,306	6,621
経常利益	352,246	565,437
特別損失		
固定資産除却損	-	4,506
特別損失合計	-	4,506
税金等調整前四半期純利益	352,246	560,930
法人税等	174,518	264,729
少数株主損益調整前四半期純利益	177,727	296,200
四半期純利益	177,727	296,200

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,727	296,200
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,152	4,438
その他の包括利益合計	14,152	4,438
四半期包括利益	163,574	300,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,574	300,639
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
減価償却費	90,202千円	104,001千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,443,940	99,163	4,543,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	4,443,940	99,163	4,543,104
セグメント利益又は損失()	357,632	4,708	352,924

(注) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,612,267	119,731	5,731,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	5,612,267	119,731	5,731,998
セグメント利益	561,405	2,437	563,842

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	85円30銭	142円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	177,727	296,200
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	177,727	296,200
普通株式の期中平均株式数(株)	2,083,667	2,085,284
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	80円26銭	133円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	130,717	130,331
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成26年11月14日開催の取締役会において株式分割を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 目的

株式分割を実施することで、株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図ることを目的とするものであります。

2. 株式分割の割合及び時期

基準日公告日	平成26年11月28日（金曜日）
基準日	平成27年1月31日（土曜日） （実質的な基準日は、平成27年1月30日（金曜日）となります。）
効力発生日	平成27年2月1日（日曜日）

3. 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,085,600株
株式分割により増加する株式数	4,171,200株
株式分割後の発行済株式総数	6,256,800株
株式分割後の発行可能株式総数	19,200,000株

4. 新株予約権の払込金額・行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、平成27年2月1日以降、以下のとおりといたします。

銘柄名	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権 （平成22年9月11日取締役会決議）	45円	15円
第2回新株予約権 （平成22年12月11日取締役会決議）	45円	15円

5. 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における（1株当たり情報）の各数値はそれぞれ以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年2月1日 至平成25年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年2月1日 至平成26年10月31日）
1株当たり四半期純利益金額	28.43円	47.35円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	26.75円	44.56円

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年12月8日

株式会社ミサワ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員業
務執行社員 公認会計士 松 田 道 春 印

指定有限責任社員業
務執行社員 公認会計士 木 村 尚 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミサワの平成26年2月1日から平成27年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年8月1日から平成26年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年2月1日から平成26年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミサワ及び連結子会社の平成26年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。